

令和2年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	対応 ※一部対応含む
旭	1	相鉄都心直通化を機としたこども自然公園への 公民連携等による柔軟な整備・マネジメント手 法の導入	1 こども自然公園のポテンシャルを活かした柔軟な整備 やマネジメント手法の導入 2 パークPFIなど、公民連携手法の導入の検討 3 民間事業者が参入しやすい環境づくり	環境創造局	○
旭	2	旧若葉台西中学校の本格活用の早期実現	1 本格活用の条件整理 2 局からの予算配分を受けて区が区局連携事業として実施 3 設備修繕工事及び本格活用の増築・改修工事の設計	市民局 財政局	○
旭	3	旭区庁舎の執務環境及び市民対応窓口等の 環境改善	1 別棟（別館・新館）における換気・空調設備の更新 2 本館1階全体の配置の見直し	市民局	○
旭	4	連続立体交差事業及び鶴ヶ峰駅北口周辺まち づくりと連携した旭区庁舎等再編整備の推進	旭区庁舎等再編整備の計画検討	市民局	○
旭	5	旭区内のコミュニティハウスの整備促進	未整備地区における地域ニーズの把握、周辺類似施設 の利用状況、設置場所、整備手法等の検討	市民局	—
旭	6	帷子川緑道の整備	1 下水道の設計・整備 2 公園部の詳細設計	環境創造局	○
旭	7	横浜環状鉄道の早期延伸	1 事業性をさらに高めるための検討の継続 2 中山～二俣川經由～東戸塚間の先行整備に向けた取組	都市整備局	○
旭	8	都市計画道路の整備促進	1 鴨居上飯田線や保土ヶ谷二俣川線の現在整備中区間の 早期完了 2 未着手路線・区間の早期着手に向けた検討調査	道路局	○
旭	9	横浜動物の森公園中央道路延伸	中央道路の計画の深度化に係る設計等	環境創造局	○
旭	10	白根地区センターにおける体育室内バスケット ゴールの更新	体育室内の可動式バスケットゴールの更新	市民局	○
旭	11	精神障害者生活支援センターB型の機能強化 に向けた施設整備	1 機能拡充法人への移転等経費の補助 2 機能拡充法人への移転後の家賃補助額の増額	健康福祉局	○
旭	12	戦没者特別弔慰金の円滑な請求受付	1 請求受付が円滑かつ効率的に行うために必要な人的措 置や方法を含めた執行体制作り 2 市民からの相談や請求方法等の問合せに対して、適切 に対応できる体制作り（専用コールセンター設置等） 3 請求受付に伴う書類管理に必要な事務用品や備品等に 関する予算配当 4 請求時に必要な戸籍情報（戸籍の証明書）に関して、 戸籍課との連携と協力体制確立に向けての市民局窓口サー ビス課との調整 5 請求受付を適切かつ迅速に行うことに特化した手順書 の整備	健康福祉局	○
旭	13	窓口の待ち時間の短縮	1 横浜市区役所嘱託員就業要綱別表の改正 2 現行単価に窓口業務分を上乗せ	健康福祉局	—

令和2年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	対応 ※一部対応含む
旭	14	狭あい道路拡幅整備事業の推進	<ol style="list-style-type: none"> 1 狭あい道路拡幅整備事業の推進 2 地域からの要望、相談などに対する積極的な説明などの実施 	建築局	○
旭	15	白根通り拡幅事業の早期完成	<ol style="list-style-type: none"> 1 用地取得の推進 2 用地取得済み部分からの先行工事の実施 	道路局	○
旭	16	落ち葉時期に対応した車道清掃	落ち葉時期に対応した車道清掃の高頻度化	道路局	○
旭	17	帷子川河川改修事業(上川井地区)による学校橋架け替えの早期完成	学校橋架け替え(河川改修事業)の早期完成	道路局	○
旭	18	南本宿公園改良整備事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 密集樹木の間伐 2 園路等再整備 3 排水設備改良 	環境創造局	○

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	環境創造局
------	-------

旭区		区政推進課	
担当者名	片岡	TEL	954-6026
共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
1	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	相鉄都心直通化を機としたこども自然公園への公民連携等による柔軟な整備・マネジメント手法の導入
	制度関連 <input checked="" type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策		<p>◇地域の課題、基礎データ等</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の減少や超高齢社会の進展を踏まえ、相鉄都心直通化を好機と捉え、若い世代をはじめ、多世代に選ばれるまちづくりが必要です。 こども自然公園は、二俣川駅、南万騎が原駅から徒歩圏内に位置する広域公園で、新旧の大規模イベントが開催されるなど、優れたポテンシャルを持っています。 一方、ポテンシャルをさらに発揮するためには、それに見合った整備やマネジメントの導入が求められます。 <p>◇地域ニーズ等の収集手段</p> <p>■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等 ■ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 ■ 7 関係団体からの要望 □ 8 その他 ()</p> <p>◇区民からの具体的な要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 旭区の魅力を高め、多くの方々に選ばれ続けるまちにしていかなければなりません。 イベント会場までの園路が砂利道であるため、車いすやベビーカーを使用しにくい場所があります。 <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <p>こども自然公園で旭区が共催する事業について、主催者への運営に関する助言等</p> <p>◇課題解決のための方策</p> <ol style="list-style-type: none"> こども自然公園のポテンシャルが発揮できるための整備や柔軟なマネジメント手法の早期導入 特に、Park-PFIなどの公民連携手法の導入可能性の検討 上記を進めるにあたり、必要に応じた、民間事業者の参入環境の整備
提案内容・概算額等		広域公園等のパークマネジメントプラン策定調査費 ■■■ 千円 (環境創造局公園緑地管理課)
参考：区執行体制上の課題		現行の体制で対応
局事業名		環境創造局公園維持管理事業
所管局課・担当者		環境創造局公園緑地管理課 今村係長 環境創造局北部公園緑地事務所 樫係長 環境創造局公園緑地整備課 臼田係長

◆局回答内容

環境創造局		公園緑地管理課、北部公園緑地事務所、公園緑地整備課	
担当者名	今村 (公園緑地管理課)、樫 (北部公園緑地事務所)、臼田 (公園緑地整備課)	TEL	公園緑地管理課 (671-2643)、北部公園緑地事務所 (353-1166)、公園緑地整備課 (671-2632)

対応の有無	対応する	予算対応する
対応する場合	◇対応の内容 令和元年9月に策定した「公園における公民連携に関する基本方針」に沿った、パークマネジメントプランの策定の候補として予算計上します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	市民局・財政局	旭区		区政推進課	
		担当者名	馬立	TEL	954-6027
		共通区			
		継続年数	新規	添付資料	

番号	提案種別	項目
2	予算関連 <input type="checkbox"/>	旧若葉台西中学校の本格活用の早期実現
	制度関連 <input checked="" type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等 平成19年4月に廃校になった旧若葉台西中学校については、平成20年10月の執行会議で①文化・芸術・スポーツの市民活動拠点として本格活用する、②改修工事及び拠点運営にかかる経費については、隣接する旧若葉台西小学校の公募事業によって得た収益を財源として充当する、等が後利用の方針として決まっています。 しかしながら、公募事業の収益が想定を下回ったため、事業スキームが組み立てられず、暫定利用が13年間継続しています。 旧若葉台西中学校エリアは、都市計画により土地利用が大きく制限されており、本格活用の事業提案が可能な事業者が限定されており、また、本格活用の方針が確定しない中では、必要な改修工事ができない状況となっています。
		◇地域ニーズ等の収集手段 ■1 日常の窓口対応等 ■2 市民からの提案等 ■3 地区担当制 ■4 地域懇談会等 □5 区民アンケート □6 区民要望 ■7 関係団体からの要望 □8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望 若葉台連合自治会他地域関係団体の要望 「文化・芸術・スポーツ分野の市民の活動拠点」として活用することが決まっているが、長期に渡って暫定利用を続けざるを得ない極めて特殊な状況である。今年度中に解決の目途を立ててほしい。また、活動の支障となっている給水設備と電気設備工事については一刻も早く改修してほしい。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 平成21～25年度に地域と区局による若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会を10回開催したものの、旧若葉台西小学校の公募事業の収益が想定を下回り本格活用に向けた検討は停滞化。平成29年度から大規模団地再生モデル構築事業を開始。これに伴い、旧若葉台西中学校の活用検討部会を立ち上げ、改めて地域と協議を開始。
		◇課題解決のための方策 本格活用の事業スキームとして、①建物全体を公募売却、②建物一部を公募貸付、の2案を基本に関係局と事業化に向けて検討を進め、本格活用の方針を確定させます。 なお、事業化の見通しが立たない場合は、早期の改修工事が必要であるため、暫定利用のまま必要な改修工事を行うことについて検討が必要となります。
		提案内容・概算額等 ○廃校施設の公募売却もしくは公募貸付等による本格活用の方針確定 ○早期の改修工事の実施（改修工事費は建築局に調査依頼中）
		参考：区執行体制上の課題 局事業名
所管局課・担当者	市民局スポーツ振興課 佐々木係長 区連絡調整課 櫻井係長 財政局資産経営課 小林係長	

◆局回答内容

市民局		区連絡調整課 スポーツ振興課	
担当者名	櫻井・三浦 佐々木・市川	TEL	671-3373 671-3583

対応の有無	対応する	その他
対応する場合	◇対応の内容 総合型地域スポーツクラブが暫定利用を継続する中での改修工事の実施については、区とともに検討していきます。 なお、統廃合校の後利用については、資産活用推進基金の活用も含め、関係部署が事業スキームや役割分担等を検討・整理することが必要と考えます。	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

財政局		資産経営課	
担当者名	小林	TEL	671-2273

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 公共公益的な利用を含め、スキームや事業者選定手法、役割分担を整理し、跡地活用に向けた検討を庁内関係部署とともに進めます。	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	市民局
------	-----

旭区		総務課	
担当者名	藤井・植田	TEL	954-6011
共通区			

継続年数	2年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
3	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	旭区庁舎の執務環境及び市民対応窓口等の環境改善
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等 区庁舎竣工から約50年が経ちこの間に人口は約10万人増加する中、2つの別棟の増設で対応しましたが、市民サービスの多様化等の中で狭あい化と老朽化が課題です。昨年度、別棟のレイアウトを見直すことで一部改善しましたが、依然として施設老朽化、本館1階の執務環境の悪化など改善が必要な状況です。 【主な課題】 執務空間の狭あい化、空調・室温等衛生環境の悪化、相談者のプライバシー配慮、待合スペースの狭さ、	
	◇地域ニーズ等の収集手段 ■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等 □ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 □ 7 関係団体からの要望 □ 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望 ハード面での窓口案内の不明確さ、待合場所の狭さに対する不満が多くなっています。また、狭あい化が厳しい職場からは、抜本的な執務環境の改善が要望されています。別館・新館の空気環境については測定結果から改善が望ましい状況です。	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 執務環境については、緊急度の高い案件を優先に、予算内で小規模な改善を繰り返してきました。平成30年度は市民局予算で別館・新館のレイアウト変更・環境改善を実施しました。令和元年度の運営方針にも、「庁舎環境改善」を盛り込んでおり、取組を進める一方で区予算では大がかりな改修の経費を捻出することは困難な状況です。	
	◇課題解決のための方策 1 別棟（別館・新館）は、空調・換気設備の更新を行うことで環境を改善できると考えます。 2 本館1階の戸籍課・保険年金課待合空間等については、フロア全体で最適な配置を検討し、対応していくことで、執務空間及び待合空間双方の改善ができると考えられます。	
	提案内容・概算額等	1 棟（別館・新館）における空調設備の更新 ■■■ 千円
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	区庁舎・周辺施設利活用事業／区庁舎設備等改修事業	
所管局課・担当者	市民局地域施設課	

◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	中村・屋富祖	TEL	671-2086

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 別棟（別館・新館）の空調・換気設備の更新について、工事費を計上します。	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査書

所管局名	市民局	旭区		区政推進課		
		担当者名	岡部、山崎	TEL	954-6026	
		共通区				
		継続年数	新規	添付資料		

番号	提案種別	項目
4	<input checked="" type="checkbox"/> 予算関連 <input type="checkbox"/> 制度関連	連続立体交差事業及び鶴ヶ峰駅北口周辺まちづくりと連携した旭区庁舎等再編整備の推進
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等 【旭区庁舎の現況と課題】 1 老朽化 総合庁舎の本館は昭和46年に竣工し、平成14年に耐震改修が行われています。築40年経過した平成22年以降、老朽化が顕在化し、修繕や設備更新を毎年度実施しています。 2 狭あい化 総合庁舎は、平成7年に別館、同15年に新館が増築されましたが、特に福祉部門では、窓口や書類が分散する等の課題を抱えています。また、駐車場が不足しているため、厚木街道まで渋滞が続き、渋滞が頻繁に発生しています。 3 交通アクセス 鶴ヶ峰駅やバスターミナルから総合庁舎に向かう坂本鶴ヶ峰線は、歩道が狭く歩行者と自転車が錯綜して危険な状況がみられます。	
	【連続立体交差事業と北口周辺のまちづくり】 1 鶴ヶ峰付近の事業予定区間には5箇所の開かずの踏切があり、線路により南北が分断されていること、周辺道路に慢性的な渋滞が発生していること、緊急活動へ影響を及ぼす可能性があることなど、踏切を起因とした課題が数多くあり、これらの課題を一挙に解決できる連続立体交差事業が求められています。 2 鶴ヶ峰駅は5.6万人/日の利用があり、約550本/日の路線バスが発着する旭区の交通拠点となっています。 3 バスターミナルが駅から250m離れ、乗換が不便になっています。 4 一般車の乗降場がなく、駅利用者と自動車がかさねやすくなっています。 5 駅前に低未利用地が多く存在しています。(旧市営住宅跡地約8,000㎡など) 6 地権者で組織されたまちづくり協議会が組織され、まちづくりの検討が行われています。 7 今後は、都市計画、環境影響評価等の手続きを進め、鶴ヶ峰駅付近の上部利用方法や整備時期等について、北口地区まちづくりと調整が必要となります。	
	◇地域ニーズ等の収集手段 <input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 その他(旭区プラン策定にも多く意見を頂いた)	
	◇区民からの具体的な要望 1 平成28年3月に連合自治会町内会連絡協議会が連続立体交差事業の早期事業化や地下化による整備について、市長及び市会議員に要望書を提出 2 平成28年12月に鶴ヶ峰駅北口再開発協議会が連続立体交差事業の地下方式の採用や、鶴ヶ峰駅北口の再開発との連携を行う旨の要望書を市長へ提出 3 平成29年度の検討会や平成30年4月、5月に行われた鶴ヶ峰北口のまちづくりに関する懇談会を経て、踏切の除却だけでなく水道道の渋滞解消や、バスターミナルやタクシー乗り場の再整備、鶴ヶ峰の特色のある再開発を希望する意見が出されました。	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 1 地権者組織の鶴ヶ峰駅北口再開発協議会の活動にも継続して参加しています。 2 中期4か年計画案では連続立体交差事業を契機に、区役所や公会堂の立地を生かした行政機能と文化施設の充実したまちなど鶴ヶ峰駅北口周辺の目標を位置付けました。 3 「横浜市都市マスタープラン旭区プラン」では、鶴ヶ峰駅周辺を行政機能と文化施設の充実したまちづくりを行う等の目標を位置付けました。 4 区運営方針では、連続立体交差事業と連携し、地域と一緒に駅周辺の利便性の向上を目指したまちづくりを進めていくものと位置付けました。 5 鶴ヶ峰駅北口のまちづくり構想では、駅の利便性の向上を図るため、駅周辺での行政・文化施設での更新について位置付けました。	
◇課題解決のための方策 両事業を連携して、旭区庁舎等の再編整備の検討を進めていく必要があります。		
提案内容 概算額等	旭区庁舎等再編整備の計画検討に要する費用(千円)	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	市民局地域施設課 中村係長	

◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	中村・屋富祖	TEL	671-2086

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 関係区局と連携しながら、連続立体交差事業や鶴ヶ峰駅北口周辺のまちづくりの動きに合わせて検討を進めていきます。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	環境創造局	旭区		区政推進課	
		担当者名	岡部、山崎	TEL	954-6026
		共通区			
		継続年数	7年以上	添付資料	

番号	提案種別	項目
6	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input type="checkbox"/>
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>帷子川旧河川敷（日影橋～前山橋）については、関係各署への働きかけにより、神奈川県が廃川処理を行い、市の水路（一般下水道）となりました。この水路敷き[帷子川旧河川敷（日影橋～前山橋）]には、本川からの流入はないものの、流域からの雨水等が滞留しているため、臭気や雑草の繁茂などの問題が発生しています。</p> <p>また、旧河川敷の跡地活用については、地域より18年度に実施されたワークショップの結果を踏まえ、プロムナードの早期整備が強く求められていましたが、31年3月に今宿橋から新今宿橋間で公園工事が完了、公園名も「帷子川緑道」と決定し、供用を開始しました。</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（ ）	
	◇区民からの具体的な要望	
	<p>H17年に地元町内会自治会連合会長から旭区長宛に、旧河川に架かる前山橋、今宿橋の拡幅に関する要望書が提出され、同時に旧河川敷の活用に関する地域要望が強くなりました。</p> <p>地元町内会自治会連合会ではH19～R元年度のタウンミーティングにてプロムナードの全区間の早期整備、住宅に対するプライバシー対策などを要望しています。</p>	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
	<p>1 「横浜市都市マスタープラン旭区プラン（Ⅲまちづくりの方針 3環境の方針）」に位置づけています。</p> <p>2 地域住民とワークショップを開催し、水路の利活用イメージを策定しました。（H18）</p> <p>3 神奈川県が廃川処理を行い、市の水路（一般下水道）となりました。（H22）</p> <p>4 前山橋と今宿橋の拡幅工事を実施しました。（H23～24）</p> <p>5 関係部署と調整し、プロムナード整備の方向性を整理した方針を確定しました。（H24）</p> <p>6 H25～H29は関係部署と調整し、隣接地との境界確認や一部の下水道整備工事、公園などの基本設計を実施しました。新今宿橋から前山橋までの下水道整備工事の基本設計及び清来橋から前山橋の一部区間の詳細設計を実施しました。</p> <p>7 H30は、今宿橋から新今宿橋の間で公園工事が完了し、供用を開始しました。また、日影橋から今宿橋及び清来橋から前山橋間の一部区間の下水道整備（旧河川埋め戻し）工事を実施しました。</p> <p>8 R元は日影橋から今宿橋間の公園工事をを行い、昨年から引き続き清来橋から前山橋間の下水道工事を実施する予定です。</p>	
	◇課題解決のための方策	
	「帷子川緑道」の早期事業実現のための財政的措置が必要です。	
提案内容・概算額等	<p>1 下水道の詳細設計・整備</p> <p>2 公園部の詳細設計・整備</p>	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	公園緑地整備事業、下水道整備事業	
所管局課・担当者	環境創造局公園緑地整備課 白田係長 管路整備課 吉野係長	

◆局回答内容

環境創造局		管路整備課 公園緑地整備課	
担当者名	吉野、白田	TEL	671-2843 671-2632

対応の有無	対応する	予算対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	<p>一部区間の下水道工事をを行います。（管路整備課）</p> <p>公園整備（清来橋～前山橋間）については、下水道工事の進捗に合わせ、令和2年度は事業調整を行い、3年度に詳細設計、4、5年度に工事をを行う予定です。（公園緑地整備課）</p>	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	都市整備局
------	-------

旭区		区政推進課	
担当者名	岡部、山崎	TEL	954-6026
共通区			

継続年数	7年以上	添付資料	
------	------	------	--

番号	提案種別	項目
7	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	横浜環状鉄道の早期延伸
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>1 平成26年2月「横浜市における鉄道を軸とした交通体系について」において、全線整備により市域の一体化や交通利便性の向上が期待されますが、多額の費用を要することから長期的に取り組む路線としています。</p> <p>2 グリーンラインやみなどみらい線に隣接する区間から事業性を高めるための検討を進めることが示されています。</p> <p>3 平成28年4月に「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」について、交通政策審議会から国土交通大臣へ答申がなされ、横浜環状鉄道が「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現する上で意義のあるプロジェクトの中の「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」の内の1つとして位置付けられました。</p> <p>4 最寄駅まで15分で到達できない交通不便地域が、旭区は市内でも特に広く分布しています。この中には、若葉台・左近山・ひかりが丘といった大規模団地のほか、多くの住宅地が含まれています。</p> <p>5 横浜市都市交通計画の改定時の意見募集では、交通課題に対しての早期対応に関する要望書を横浜市長へ提出しました。</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<p>■1 日常の窓口対応等 □2 市民からの提案等 ■3 地区担当制 ■4 地域懇談会等</p> <p>□5 区民アンケート ■6 区民要望 ■7 関係団体からの要望</p> <p>□8 その他 ()</p>	
	◇区民からの具体的な要望	
	<p>市長宛要望書、タウンミーティング等の機会に、以下の要望を受けています。</p> <p>1 交通不便地域の解消が、若年層の地域離れ、高齢者の外出機会減少に歯止めを掛け、地域発展につながる。</p> <p>2 平成30年7月2日に旭区区連会から市長へ要望書の提出（11月30日回答）</p> <p>3 令和元年度のタウンミーティング（若葉台、今宿、左近山）で早期整備について要望を受ける。</p> <p>4 横浜国際プールや歴史博物館等のグリーンライン（日吉～中山）沿線に位置する市の主要な施設へのアクセス性向上のほか、郊外部の地域間交流が活発になり市域が一体となる。</p> <p>5 スーパリア等、旭区内の施設へのアクセス性向上により、更なる集客と周辺道路の渋滞が解消される。</p>	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
	<p>1 「横浜市都市マスタープラン旭区プラン（Ⅲまちづくりの方針 2交通の方針）」に位置づけています。</p> <p>2 横浜市中期4か年計画2018～2022、横浜都市交通計画に事業化の推進に向けた検討を行うことを位置づけています。</p>	
	◇課題解決のための方策	
	<p>横浜環状鉄道には、旭区内の交通不便地域の解消だけでなく、市内各所を繋げることで郊外部の活性化にも寄与するため、実現に向けた検討・調査を行います。</p>	
提案内容・概算額等	<p>1 横浜環状鉄道について事業性をさらに高めるための検討の継続</p> <p>2 既存路線のグリーンラインの隣接する区間である中山～二俣川經由～東戸塚間の先行整備に向けた取組</p>	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	鉄道計画検討調査	
所管局課・担当者	都市整備局都市交通課 楡係長	

◆局回答内容

都市整備局		都市交通課	
担当者名	楡、村野	TEL	671-2021

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 横浜環状鉄道を含む交通政策審議会答申に位置付けられたプロジェクト等について、引き続き検討調査を実施するための予算（鉄道計画検討調査の一部）の中で検討します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局	旭区		区政推進課		
		担当者名	岡部、山崎	TEL	954-6026	
		共通区				
		継続年数	7年以上	添付資料		

番号	提案種別	項目
8	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	都市計画道路の整備促進
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>1 旭区内の都市計画道路の整備率は低く、主要な道路網の整備が十分ではありません。(整備率42.1% 17位/18区 市全体68.5% (H31.3))</p> <p>2 慢性的な交通渋滞や、住宅地内の道路が渋滞回避の抜け道として利用されるなどの問題が生じています。</p> <p>3 旭区は交通不便地域が広く分布していますが、主要道路の交通渋滞が多発していることにより区民の足となるバスの遅延が頻発し、日常的な移動に影響が生じています。</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<p>■ 1 日常の窓口対応等 ■ 2 市民からの提案等 ■ 3 地区担当制 ■ 4 地域懇談会等</p> <p>□ 5 区民アンケート ■ 6 区民要望 ■ 7 関係団体からの要望</p> <p>□ 8 その他 ()</p>	
	◇区民からの具体的な要望	
	<p>1 都市計画道路の整備については、平成30年度実施の区民意識調査の結果から多くの期待があることが示されており、日常の窓口等においても多数要望を受けています。</p> <p>2 旭区連合自治会町内会連絡協議会から、交通関係の諸課題への早期対応に関する要望書を市長に提出し、都市計画道路未整備区間の早期整備について要望を行っています。(H30.7)</p> <p>3 関係地域のタウンミーティング等において、各路線の早期整備を要望されています。</p>	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
	<p>1 地域からの要望を受け、関係各局に事業推進を働きかける等調整を行ってきました。</p> <p>2 区連会の要望を受け、都市計画道路検討会を設置し、区内の都市計画道路の現状と課題について、検討を行いました。</p> <p>3 「横浜市都市マスタープラン旭区プラン(Ⅲまちづくりの方針 2交通の方針)」に位置付けています。</p>	
	◇課題解決のための方策	
	<p>1 鴨居上飯田線や保土ヶ谷二俣川線の令和4年度の全線開通に向けた着実な事業進捗</p> <p>2 整備未着手路線・整備未着手区間の早期着手</p> <p>3 横浜環状道路など市内の主要道路を整備後は旭区の都市計画道路を集中的に整備</p>	
提案内容・概算額等	<p>1 鴨居上飯田線や保土ヶ谷二俣川線の現在整備中区間の早期完了</p> <p>2 未着手路線・区間の早期着手に向けた検討調査</p>	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	都市計画道路等の整備	
所管局課・担当者	道路局企画課 周治係長、原建設課 中嶋係長	

◆局回答内容

道路局		企画課、建設課	
担当者名	周治、原(企画課) 中嶋(建設課)	TEL	671-2777(企) 671-3542(建)

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	<p>鴨居上飯田線及び保土ヶ谷二俣川線について、南本宿方面からさちが丘方面までの事業中区間が、神奈川東部方面線(相鉄・東急直通線)の開業する令和4年度下期までに供用できるよう、工事費及び用地取得費等を計上します。</p> <p>歩行者の安全対策については、現場の状況に応じて警察や土木事務所と連携しながら対応していきます。(建設課)</p> <p>【課題】</p> <p>現在、事業中路線の整備を集中的に進めていたため、未着手路線・区間の着手時期については、他の事業中区間の進ちょく状況等を見ながら効率的・効果的な整備を検討していきます。(企画課)</p>	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査書

所管局名	環境創造局	旭区		区政推進課	
		担当者名	岡部、山崎	TEL	954-6026
		共通区			

継続年数	3年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
9	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	横浜動物の森公園中央道路延伸
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>1 平成29年の全国都市緑化よこはまフェア期間中に里山ガーデンを訪れた方の1/5が旭区民であり、旭区DAYではステージ出演にも意欲的にご参加いただきました。里山ガーデンは区民に愛される財産として、暫定公開の際にも多くの区民が来場しました。今年度も約14万5千人が来場し、大いに盛り上がりました。</p> <p>2 一方で、開園以来ズーラシアの駐車場利用等に伴う交通渋滞が発生しており、今年度のタウンミーティングでも、議題として取り上げ、強く対応を求められています。今後、より多くの来場者を迎える上でアクセスの利便性を、総合的に考えていくことが不可欠です。</p> <p>3 本年9月からはPark-PFIを活用したアスレチック施設等が順次オープンしていく予定であり、より多くの集客が見込まれる状況です。</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	<p>1 平成28年10月に隣接する川井地区町内会自治会連合会が渋滞解消に関する市長陳情を提出</p> <p>2 令和元年度のタウンミーティングでは、3つの地区連合自治会町内会（上白根、旭北、今宿）が「中央通路の整備」を継続して議題として取り上げ、早期の渋滞解消を強く要望</p>	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
	<p>1 平成29年度に横浜動物の森公園中央通路の整備促進及び里山ガーデン跡地の早期本格活用について区提案反映制度で提案</p> <p>2 「横浜市都市計画マスタープラン旭区プラン」では、ズーラシア周辺の交通環境の改善を行っていくことを位置付けました。</p> <p>3 区運営方針では、横浜動物の森公園の整備推進を位置付けました。</p>	
	◇課題解決のための方策	
	<p>中央道路延伸による交通渋滞の早期解消</p> <p>1 中央道路の計画の深度化（設計予算の計上）</p> <p>2 中央道路延伸を進める上で、三保街道の安全確保及びボトルネック箇所等の解消に向けた検討</p> <p>3 来場者用駐車場の増設</p>	
提案内容・概算額等	中央道路の計画の深度化に係る設計費用等	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	公園緑地整備事業	
所管局課・担当者	環境創造局公園緑地整備課 河村係長	

◆局回答内容

環境創造局		公園緑地整備課	
担当者名	河村	TEL	671-4125

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	中央道路の延伸については、引き続き、道路の設計や測量等を進めてまいります。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名 健康福祉局

旭区 生活支援課
担当者名 大井 TEL 954-6100
共通区 鶴見、中、港南、保土ヶ谷、磯子、金沢、緑、港北、青葉、戸塚、栄、泉、瀬谷

継続年数 新規 添付資料

番号 12 提案種別 予算関連 制度関連 項 目 戦没者特別弔慰金の円滑な請求受付
◇地域の課題、基礎データ等
1 請求受付の長時間化
既存の生活保護事務を行いながらの請求受付のため、物理的に職員が不足することから、弔慰金等の請求受付だけでなく、生活保護事務の窓口対応でも長時間待たせてしまいます。更に窓口で相談や問合せの対応をすると、一層時間が掛かります。またこのことから、開庁時間中での対応が覚えないとともに、待合スペースに人が溢れてしまう恐れもあります。
2 請求者の負担
請求書類として戦没者や親族等との関係確認で戸籍の証明書（以下、証明書）が必要であり、戸籍内容によって改製原や他都市への請求が必要になります。そのため、生活支援課窓口で確認して証明書に内容が足りない、何度も証明書取得のため戸籍課と生活支援課を往來していただくことになり、特に請求者に年配者が多いことから、大きな負担になってしまいます。
3 請求者からの電話対応
区役所あてに電話での問合せが多く寄せられて対応に拘束されること、市コールセンターからの転送や県から電話を区に回されること、以前の請求時と比較して多くなっています。職員が電話対応に追われることにより、窓口対応ができなくなることで受付待ちの長時間化に影響を及ぼすとともに、電話回線が塞がってしまうことで業務電話が使用できなくなり、業務に支障が発生します。
4 生活支援課事務係の影響
現状以上に窓口や電話対応をすることになれば、生活保護事務の進捗に大きな影響が生じます。また時間内の事務が難しくなることで恒常的な超過勤務が生じるとともに休暇取得も難しくなるため、ワークライフバランスに大きな影響を与えます。
【基礎データ】
・前回の本市への請求数
本市全体：11,822（うち、旭区1,062（本市1位））
・当業務による超過勤務時間（旭区における前回の超過勤務：前年度比で約187%）
関連して年次休暇が取得しづらくなる等、ワークライフバランスへの影響があります。
◇地域ニーズ等の収集手段
■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等
□ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 □ 7 関係団体からの要望 □ 8 その他（ ）
◇区民からの具体的な要望
1 受付での待ち時間が長い、受付方法を改善してほしい。
2 電話での対応時間が長く、繋がらないこともあるため、相談窓口を設置してほしい。
3 生活支援課と戸籍課双方の窓口対応の改善をしてほしい（往來することが負担）。
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。
1 待ち時間にパンフレットや請求書を渡して事前の確認・記入を促した。
2 電話で問合せのあった方は、混雑状況を伝えて申請期限が長いことから落ち着いた頃合いに請求するよう促した（受付開始から3年間受付できるため）。
◇課題解決のための方策
1 執行体制
（1）人的措置
請求受付が円滑かつ効率的に行うための人的措置や方法を含めた執行体制として、受付業務等が行える職員、派遣社員、会計年度任用職員等を前回申請状況等に鑑み、各区に必要な期間や人数を配置して体制確保する必要があります。また職員や派遣社員であれば、区の状況（窓口数が少ない等）に応じて、臨時窓口の設置等も検討できると考えます。ただし、会計年度任用職員をアルバイトとする場合、賃金を区配するだけでは人が見つからず雇用できない可能性があり（現に前回は雇用できない区あり）、また来年度から会計年度任用職員として公募等の新たな事務が発生することから、雇用事務において局のサポートが必要となります。
（2）環境整備
請求受付等に必要の消耗品や備品等に掛かる予算の区配が必要です。
2 専用コールセンターの設置
専用コールセンターを設置し、相談説明等が今までよりも容易にできる環境を作ることで、請求者の安心に繋がるとともに、請求方法を教示すれば、受付時の滞留時間削減にも繋がります。また区全体の事務係業務の効率化が図られ、ワークライフバランスも改善すると想定されます。
3 戸籍課との連携
市民局窓口サービス課と調整し、請求者の証明書用意に伴う区戸籍課と生活支援課の往來を防ぐため、生活支援課から戸籍課へ指示し易い形を作るだけでなく、請求に必要な証明書について事前に戸籍課へ周知を図り、戸籍課で発行した証明書の内容次第で更に必要となる証明書等の助言ができるようにする等、請求者に寄り添う形の行政サービスにより、請求者の負担軽減を図ります。
4 手順書の作成及び研修体制
効率的に受付ができるよう、これまでの各区ノウハウの集積や戸籍の知識向上を図るため、受付業務に特化した手順書の作成及び研修が必要です。そのことで、職員だけでなく、派遣社員や会計年度任用職員にも活用することができるとともに、市全体で統一した対応ができます。
提案内容・概算額等 健康福祉局の予算で対応
参考：区執行体制上の課題 現行の体制で対応
局事業名 戦没者遺族援護事業
所管局課・担当者 健康福祉局生活支援課 沖山係長

局回答内容

健康福祉局 生活支援課援護対策担当
担当者名 沖山 TEL 671-2425

対応の有無 対応する 既存の事業で対応する
対応する場合 ◇対応の内容
当該事務処理については、前回第10回特別弔慰金支給に際して、事務の大幅な遅延などに関して、支給手続きの改善について総務省から厚生労働省に申入れがなされているところであり、スムーズな事務が執行できるよう神奈川県にも協力を得ながら努めていきます。制度改正では、同順位者からの請求同意書・請求同意書を提出することができない旨の申立書の廃止や請求書の個人番号記載欄の廃止等により、請求者の負担軽減や事務の簡素化が図られました。また、請求者からの問い合わせに円滑に対応できるよう、市コールセンターのQAの見直し等充実を図ります。対象者の高齢化に伴い、前回と比較し案内に時間を要する懸念があること等から、区役所支援のため事務補助として会計年度任用職員の配置や行政書士の派遣等の予算措置を講じます。また、区において円滑な事務が遂行できるよう、神奈川県主催の次回特別弔慰金受付事務説明会を令和2年1月に開催し、18区を6ブロックに分け、きめ細かな説明を実施するとともに令和2年3月に戸籍関連研修も実施していきます。さらに受付事務プロジェクトを立ち上げ、戸籍連絡票の見直し等事務改善を図っていきます。戸籍課との連携は重要であり、市民局窓口サービス課を通じて、戸籍課長及び戸籍担当係長会等で協力依頼を実施し、連携強化を図っていきます。
対応しない場合 ◇課題に対する局の考え方
◇対応する場合の課題

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	健康福祉局
------	-------

旭区		保険年金課	
担当者名	杉山	TEL	954-6135
共通区	鶴見区、神奈川区、西区、南区、港南区、磯子区、金沢区、緑区、都筑区、泉区		

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
13	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	窓口の待ち時間の短縮
	制度関連 <input checked="" type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>保険年金課の窓口は、受付件数が多く、保険料の相談や複雑な制度の説明など1件に時間がかかるため、待ち時間が長いことが課題となっています。特に、高齢者や治療中の方が多く来られるため、体調不良になり帰る方や、待ち時間の長さを不満に思う方も多く、待ち時間短縮が急務です。短縮のためには、窓口対応人数を増やす必要がありますが、職員は内部事務も行っており、これ以上窓口の業務時間を増やすことはできません。また土曜開庁の振替取得等もあり、急な病欠の代替となる職員を確保できない状況にあります。</p> <p>【基礎データ（旭区：資格給付窓口）】</p> <p>①一日あたり平均窓口受付件数 約250件 ②最大待ち時間の平均 約30分 ③窓ローテーション 2日に1回</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	<p>1 いつも混んでいる。電話もつながらない。 2 申請書を出すだけなので、並ばずに済ませたい。</p>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。		
<p>1 繁忙期の窓口数増 2 申請書を受取するのみの臨時窓口を試みに設置（臨時窓口利用者の待ち時間は減小） 3 郵送申請の推進（給付事務における返信用封筒の同封等） 4 区政運営方針「正確で親切・丁寧な行政サービスの実施」</p>		
◇課題解決のための方策		
<p>内部事務の補助業務に従事している嘱託員に、その業務になじむ窓口業務を担わせることで窓口対応者を増やし、窓口の待ち時間を短縮します。</p>		
提案内容・概算額等	健康福祉局：①横浜市区役所嘱託員就業要綱別表に「嘱託業務として適切な窓口業務」を追加 ②現行単価に窓口業務分を上乗せ。報酬約20万円（@2,000円×12カ月×8人）	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	横浜市区役所嘱託員	
所管局課・担当者	健康福祉局保険年金課 永山管理係長 医療援助課 勝倉医療係長 介護保険課 宇佐美担当係長	

◆局回答内容

健康福祉局		保険年金課、医療援助課、介護保険課	
担当者名	永山、勝倉、宇佐美	TEL	保険年金課 (671-2421)、医療援助課 (671-4116)、介護保険課 (671-4252)

対応の有無	対応しない	制度化見送り
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>現在、給付事務改善プロジェクト等で業務見直しを行っている段階であり、事務集約化の推進や郵送受付の活用を行う等、まずは事務改善を進めることが必要と考えます。</p> <p>◇対応する場合の課題</p> <p>窓口登用推進の声がある一方で、慎重であるべきとの意見もあり、18区の意見が一致していません。また、常勤職員を含めた職場体制のあり方や、勤務条件についても整理が必要です。</p>	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	建築局
------	-----

旭区		土木事務所	
担当者名	遠藤	TEL	953-8801
共通区			

継続年数	6年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
14	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input checked="" type="checkbox"/>
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等 旭区は、狭あい道路が多く、「狭あい道路整備促進路線」が約62km指定され、市内18区中1位となっています。タウンミーティングや地域住民からは、道路が狭くて危ない、緊急車両がすれ違えない等の要望が多数寄せられています。しかし、狭あい道路拡幅整備事業は、地権者の申請により拡幅が行われるため、建替え時でない限り整備事業が実施されない現状があり、とりわけ区内でも「狭あい道路整備促進路線」の集中している「今宿地区」などの地域からは、路線型による計画的な整備を望む声が高まっています。
		◇地域ニーズ等の収集手段 ■1 日常の窓口対応等 ■2 市民からの提案等 ■3 地区担当制 ■4 地域懇談会等 □5 区民アンケート ■6 区民要望 □7 関係団体からの要望 □8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望 連合自治会町内会連絡協議会や今宿地区のタウンミーティングの議題としても長年にわたり取り上げられており、通学路が狭い、緊急車両が通れない、災害時の避難路が危険である等の理由から積極的な拡幅整備の推進を要望されています。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 市民生活の安全の確保のため、関係課に対し随時、予算配布などの働きかけを行っています。
		◇課題解決のための方策 1 引き続き、地域の要望を踏まえた路線型による狭あい道路拡幅整備事業の重点整備及び予算の確保を求めます。 2 「横浜市狭あい道路の整備の促進に関する条例」の改正を踏まえ、本事業の制度の周知・広報などのため、地域から拡幅要望があった場合等には、建築局として事業及び助成制度などの説明を積極的に行うとともに、具体的な要望箇所については建築局から地権者に対して拡幅の働きかけを積極的に実施します。
		提案内容・概算額等
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	狭あい道路拡幅整備事業	
所管局課・担当者	建築局建築防災課 藤本係長	

◆局回答内容

建築局		建築防災課	
担当者名	藤本	TEL	671-4545

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 路線型による拡幅整備の実施にあたっては、地域住民や土地所有者の方の協力が欠かせないことから、地元の取組状況等を確認した上で、区の協力のもと、必要な支援の検討を行い、対応を図ります。	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局
------	-----

旭区		土木事務所	
担当者名	遠藤	TEL	953-8801
共通区			

継続年数	7年以上	添付資料	
------	------	------	--

番号	提案種別	項目
15	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input type="checkbox"/>
地域のニーズと解決策		白根通り拡幅事業の早期完成
		◇地域の課題、基礎データ等
		1 白根通りは、鶴ヶ峰駅と周辺地域を結ぶ重要なバス路線であるとともに、幹線道路を結ぶ道路ネットワークとしても重要な役割を担っています。 2 本事業は、昭和62年から事業を開始し、7mの道路を16mに拡幅する事業を行っていますが、一部区間では道路幅員が狭く、歩道のない区間やバスのすれ違いが困難な区間もあり、また、事業期間が長期にわたっていることから地域住民からは早期の完成を強く求められています。
		◇地域ニーズ等の収集手段
		<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input checked="" type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望
		連合自治会町内会連絡協議会や旭北地区連合自治会のタウンミーティングなどにおいても、長年にわたり議題として取り上げられており、地域住民からは特に斉藤橋付近の早期完成を要望されています。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。
		斉藤橋については、中堀川の河川護岸の改修と併せて道路拡幅を行う必要があることから、管理者である神奈川県との早期合意に向けて道路局河川部と連携して取り組んでいます。
		◇課題解決のための方策
		全体2,450mの内、完成済み延長は1,610mとなっています。残る2地区（白根6丁目地区、上白根1丁目地区）の用地取得率は約83%となっていますが引き続き、用地取得を進め、取得できた部分から先行して工事を実施していきます。なお、懸案となっている斉藤橋工区の整備や焼損家屋の用地取得について引き続き、道路局河川部や建設課、区の関係部署とさらなる連携強化を図り、早期整備に向けて取り組んでいきます。
提案内容 概算額等	1 用地取得の推進 2 用地取得済み部分からの先行工事の実施	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	道路改良事業	
所管局課・担当者	道路局維持課 徳重係長	

◆局回答内容

道路局		維持課	
担当者名	徳重	TEL	671-2792

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 本案件を踏まえ、対象事業の予算の状況や各区の事業の実施状況等に応じて、配付額を決定いたします。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局
------	-----

旭区		土木事務所	
担当者名	遠藤	TEL	953-8801
共通区			

継続年数	3年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
16	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input type="checkbox"/>
地域のニーズと解決策		落ち葉時期に対応した車道清掃 ◇地域の課題、基礎データ等 1 旭区では「ニュータウン通り」をはじめ、落葉樹等の街路樹並木を有する道路が多数あるが、落ち葉時期においては「並木愛護会」等の地域住民に清掃活動のご協力をいただいています。 2 近年の急激な高齢化に伴い、清掃活動の継続が難しい状況になっており、落ち葉で滑って危ないといった陳情が多数寄せられ、清掃活動を担う地域住民からは落ち葉季節期間中における車道清掃頻度の増加を強く求められています。
		◇地域ニーズ等の収集手段 ■1 日常の窓口対応等 □2 市民からの提案等 ■3 地区担当制 ■4 地域懇談会等 □5 区民アンケート ■6 区民要望 □7 関係団体からの要望 □8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望 これまでに二俣川ニュータウン連合町内会のタウンミーティングの議題としても取り上げられており、地域住民からは落ち葉時期における車道清掃の実施頻度の増加を求められています。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 関係課に対して随時、予算配付などの働きかけを行っています。
		◇課題解決のための方策 現在の道路局の配付予算では、区内のバス路線等において概ね月に1度の頻度でしか車道清掃を実施することができないものの、今後、必要な予算を確保し、落ち葉時期（10～12月）は落葉樹路線で3回/月程度の頻度で車道清掃を実施していく必要があります。
		提案内容・概算額等 落ち葉時期に対応した車道清掃予算の確保を希望する。
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	道路清掃事業	
所管局課・担当者	道路局施設課 北村係長	

◆局回答内容

道路局		施設課	
担当者名	北村	TEL	671-2785

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 当該路線については今年度街路樹管理事業の中で障害者就労施設による歩道の落葉清掃委託を実施しており、来年度も継続して実施をお願いします。	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

旭区		土木事務所	
担当者名	遠藤	TEL	953-8801
共通区			

所管局名	道路局
------	-----

継続年数	7年以上	添付資料	
------	------	------	--

番号	提案種別	項目
17	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input type="checkbox"/>
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等 1 上川井地区には、水道道・国道16号・旧道の3本の道路が東西方向にあります。この3本を結ぶ南北方向の道路が脆弱であるため、地域が分断されてしまっています。 2 大雨時には学校橋が冠水することから災害時の避難場所である上川井小学校への避難にも支障をきたしており、地域住民からは早期整備を求められています。 3 河川改修事業に合わせて3本の東西方向の道路を結ぶ方向道路(橋)の早期完成が必要です。
		◇地域ニーズ等の収集手段 <input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input checked="" type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望 これまでに上川井地区タウンミーティングにて河川改修と併せた道路整備を要望されています。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 1 平成23年から河川事業課の河川改修と土木の道路整備を併せて実施する方向で検討してきました。 2 概略設計を実施し、25年度に地元説明を行い、その結果、通過交通の増加も考慮し、線形について、26年度に地元と説明を行いました。
		◇課題解決のための方策 河川改修事業と併せて国道16号の現道と旧道との間にある学校橋の架け替えを行う予定であるため、これに合わせた橋梁及び道路の整備を早期に行う。河川事業用地を利用するため、用地取得を行うことなく道路整備することができる。
		提案内容・概算額等 学校橋架け替え(河川改修事業)の早期完成
		参考：区執行体制上の課題 現行の体制で対応
局事業名 都市基盤河川改修事業		
所管局課・担当者 道路局河川事業課 長嶋課長補佐		

◆局回答内容

道路局		河川事業課	
担当者名	長嶋	TEL	671-2869

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 執行段階において予算の範囲内で事業の優先順位等を考慮し、実施する予定です。	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	環境創造局
------	-------

旭区		土木事務所	
担当者名	川越	TEL	953-8801
共通区			

継続年数	新規	添付資料
------	----	------

番号	提案種別	項目
18	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input type="checkbox"/>
地域のニーズと解決策	南本宿公園改良整備事業	
	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>1 南本宿公園（地区公園、約49,800m²）は、旭土木事務所管理の公園で面積が1番広く、小学校・中学校・地域ケアプラザなどの多くの公共施設に囲まれ、二俣川駅からのアクセスもよく、散歩道として多くの区民に利用されています。</p> <p>2 樹林地が中心の公園ですが、現状は防犯面や園路、排水不良などの多くの課題を抱えています。</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（職員提案）	
	◇区民からの具体的な要望	
	・改良により、排水、樹木の伐採、園路の対策が望まれています。	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
<p>1 維持委託による管理</p> <p>2 愛護会会長との協議</p>		
◇課題解決のための方策		
<p>1 防犯面：密集した樹木を間伐することにより、見通しを良くします。</p> <p>2 園路：老朽化した園路の再整備を行い、健康遊具や標識を設置し「健康みちづくり」を行います。</p> <p>3 排水：排水不良の改良とあわせて浸水対策に寄与するグリーンインフラの整備を行います。</p>		
提案内容・概算額等	<p>1 密集樹木の間伐</p> <p>2 園路等再整備</p> <p>3 排水設備改良</p>	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	公園整備事業	
所管局課・担当者	環境創造局公園緑地維持課 池上係長	

◆局回答内容

環境創造局		公園緑地維持課	
担当者名	池上	TEL	671-3809

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	公園緑地整備費、下水道整備費は局が負担します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	